



Recommended calling QRGs: 7.026/7.028, 10.118/10.138, 14.058, 18.085, 21.058/21.138, 24.918, 28.058/28.158  
FEA Net: 7.026 MHz 2300UTC on Saturdays, 14.054 MHz 0800UTC on Sundays  
Newsletter Editor, FEA Net Manager: Nao JO3HPM ([jo3hpm@fists-ea.org](mailto:jo3hpm@fists-ea.org))  
Membership Secretary: Jean JL3SIK ([join-fea@fists-ea.org](mailto:join-fea@fists-ea.org))  
Web administrator, QSL Manager, Newsletter E-mail Distributor: Harry JL3AMK ([webadmin@fists-ea.org](mailto:webadmin@fists-ea.org))  
FISTS members can receive the morsEAsia via e-mail. Please email the web admin with your FISTS#.  
Other members of administration: Sugi JK7UST & Manabu JE1RZR  
<http://www.feacw.net/> or <http://www.fists-ea.org/> (Secondary)

## 日本語付録

日本語で投稿された原稿は編集部で英語へ意識して掲載しました。ここでは日本語原稿を掲載します。

### “MY NEW CAR AQUA (PRIUS C)” SUGI JK7UST #7178

朝食を食べて K3 のスイッチを入れると、エクアドルの局が入感していたので呼びました。いつもだと S9 の信号が S1 ~3 という弱さ。数回のやり取りの末、やっとコールサインをコピーしてもらいました。このコンディションではだめだと、オールアジアコンテストはあきらめ、雨のやんだ丸森町へ新車で繰り出しました。国内のコンディションもよくありませんでしたが、梅雨の晴れ間の移動運用は気持ちの良いものでした。



### 「私からのお願い」 AKI JG7UVO #15112

JG7UVO AKI 我妻明文(わがつまあきふみ)です。25年ぶりにアマチュア無線界に復帰し、福島県いわき市から QRP そして VY VY QRS で オンエアしています。これまでストレートを使用していましたが、QRP で電波が弱い上に符合までキタナイというのは相手局に申し訳なく、せめて符号だけでも綺麗にとエレキーを使用し始めました。使い慣れないエレキーでもあり、QRP VY VY QRS には変わりありませんが、一人でも多くの方と QSO できるよう頑張っておんエアし続けます。どうぞよろしくおねがいします。

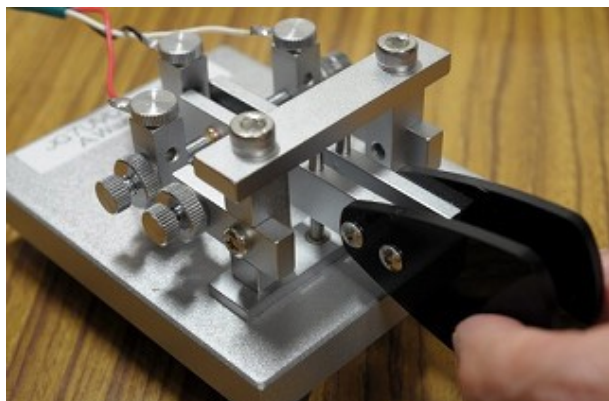
福島県いわき市は広大な面積があります。昨年 3 月におきた東日本大震災では、市の沿岸部が津波により多くの方が犠牲になりました、市の北部は原発事故によりやむなく避難された方がいらっしゃいました。

幸い、我が家はいつれの地域でもなかったので直接的な被害といえば、水道の供給停止が約 10 日間、都市ガスの供給停止が約 20 日間ぐらいでした。地震発生時、会社や学校にいた家族は全員怪我もなく無事でしたし、自宅建物についても被害はありませんでした。

震災直後は風評被害により物流が止まり食料の調達やガソリンの入手がとても困難な時期もありましたが、現在は震災前と変わらぬ平穏無事な生活を送っています。

福島県には多くの人々が暮らしています。暮らしているのですから安全です。危険な場所には人は暮らしません。皆さん、安心して風光明媚な福島県に是非遊びに来てください。

写真を 2 枚添付します。一枚は使用中のパドルです。もう一枚は家の近所にある「国宝・白水阿弥陀堂(しらみずあみだどう)」という史跡の紅葉です。

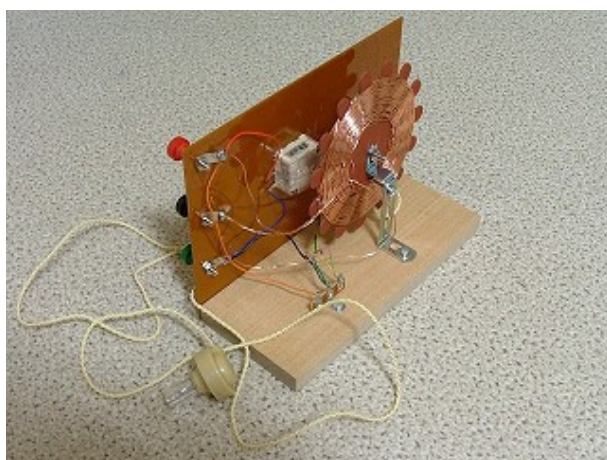


### 「ゲルマニウムラジオ」 AKI JG7UVO #15112

こんにちは。JG7UVO AKI です。たまには CW からちょっと離れて「ゲルマニウムラジオ」というラジオ工作はいかがでしょう。CW 同様、はまってしまうと抜け出せなくこと間違いありません HI

私がこれまで作っては壊しを繰り返してきた作品の一部を紹介します。

そもそも、ゲルマラジオなんて音が小さく使い物にはならないと思っていました。ある時、出張で東京に行った時に秋葉原の電気街でスパイターコイル式のラジオキットを購入した事がきっかけでゲルマラジオ熱が発症してしまいました。(写真 1)



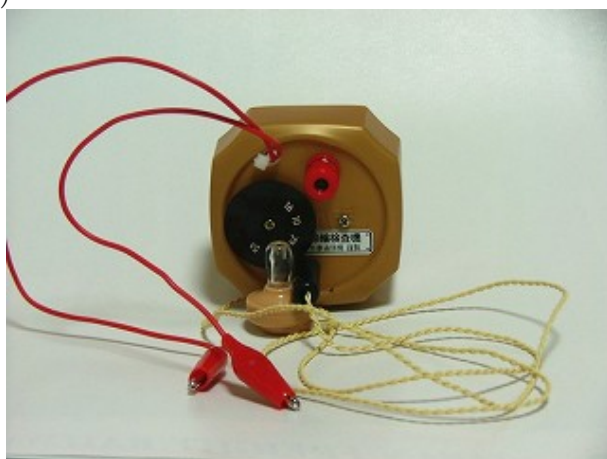
バラック式ラジオには手をいれたいくなる魔物が棲んでいるようでコイルを巻き直し複数のタップを増設しアンテナとの相性をクリップで切り替え式にしたり、バリコンをエアバリコンに交換し、更にダイヤルは大型の物(レプリカ)に交換した結果キット本来の姿とは似ても似つかないラジオに変身してしまいました。(写真 2・3)



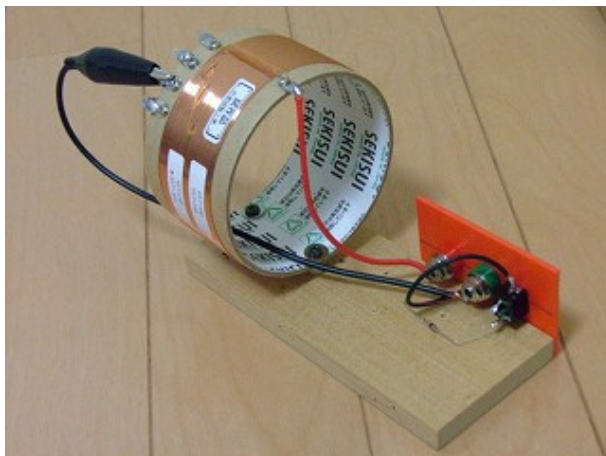
コイル巻きに興味が出てくると、「紙の筒に執着を示す」ようになり程よい大きさの筒が見つかるので、即コイル巻きをします。(写真 4)



ゲルマラジオですから、高価な計測機器は不要と思い巻いたコイルをテストするための簡易テスターを作成しました。インスタントコーヒーの蓋にポリバリコンとダイオードを入れただけの簡単な物でも、コイルを接続し放送を聞いてみるテストには十分でした。(写真 5)



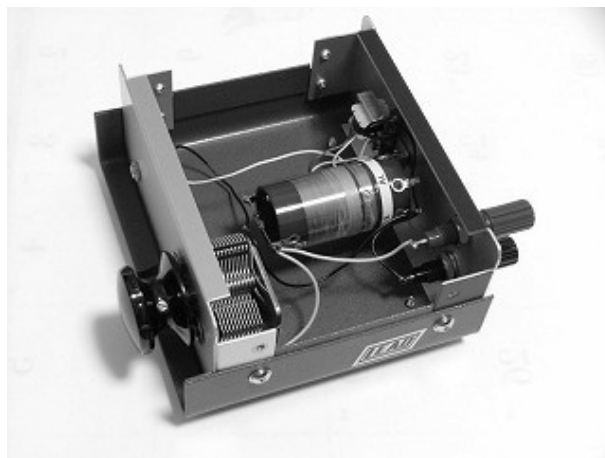
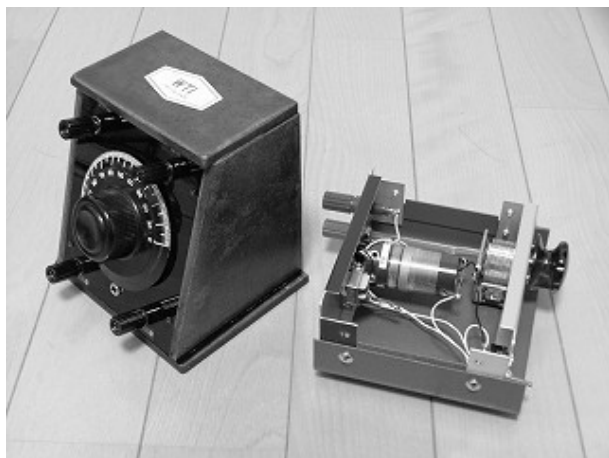
文献等によると、大昔の鉱石ラジオは同調回路にコンデンサは無くコイルのタップ切り替えだけで同調が可能であったそうです。巻いただけで放置してあったコイルにアンテナ・アースを接続し適当なタップを選択してみたところ、放送を聞くことができました。板の上にコイルを固定し簡易的なパネルをつけ、これでも立派なラジオです。(写真6)



バラックも良いのですが、やはり実用的なラジオも作成してみたいくなります。クリップが入っていた小型のケースに組み込んだ物や小型のプラスチックケースに組み込んだもの、更にはいろいろな回路を試せるようにブレッドボードを組み込んだ物など、とにかく創りたい欲求がだんだん高まります。(写真7)



やがて、木材を用いて鉱石ラジオ風のものや、金属ケースに組み込みちよつとした通信機のような高級感ある物へと興味は移って行きました。(写真8・9)



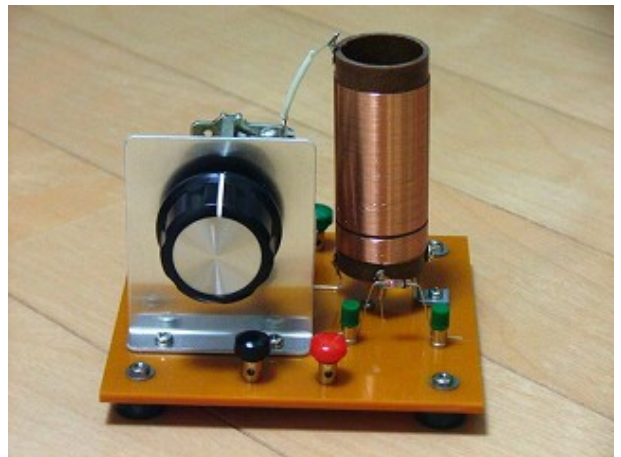
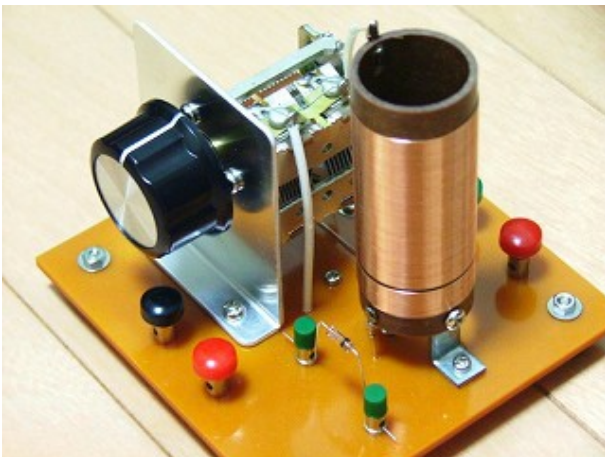
魅せるラジオは作れないのか。集めた部品を並べて思慮してみました。(写真 10)



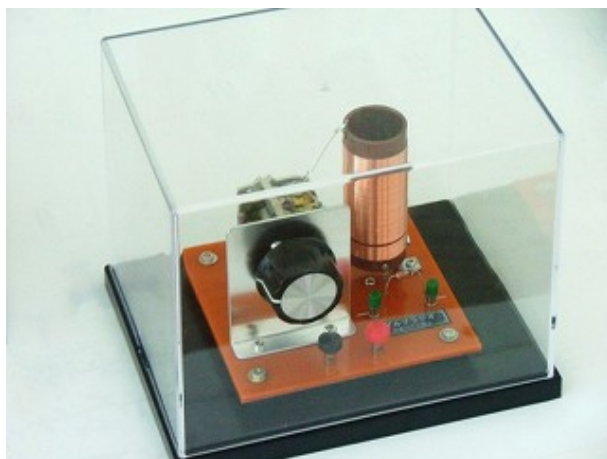
木片の上に組み上げるのも良いが、魅せる意味から基台にはベーク板を使用し、まずは部品配置をしました(写真 11)



コイルを巻き、部品間の配線を済ませラジオは完成しました。ゲルマニウムダイオードが見えるのがちょっとしたアクセントです。(写真 12・13)



銘板風のステッカーを貼り付け、ケースに収め「魅せるラジオ」が完成しました。(写真 14)  
ケースの中の完成したラジオをよく見ているとそれぞれの部品が持つ時代背景が違うのではないかと考えてきました。



まずはダイオードです。エアバリコン・コイルに似合うのは「鉱石検波器」です。せめて形だけでもと思い、アクリルパイプにダイオードを入れた検波器を作成しました。自作ラベルでそれっぽく復元させました。(写真 15)



あとは端子です。カラフルな端子は似合いません。ベーク板には無骨な金属製の端子が一番似合います。ローレットナット・六角ナット・ねじを駆使して端子を復元しました。また、ゴム足を留めているナットも六角から袋型に取替え、正真正銘の魅せるラジオが完成しました。(写真 16・17)



最後になりますが、友人を紹介します。ハンドルを「CRL」と名乗る彼は、私の師と呼べるほどゲルマラジオに堪能しており、BCバンドラジオだけにとどまらず、HFやVHF-FMのゲルマラジオまで作成し続けています。ぜひ、彼のサイトをごらんください。但し、サイト内は日本語のみです。 URL <http://www.k5.dion.ne.jp/~radio77/index.htm>